

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	資源循環課担当課長	内海 春信
環境-07 3R推進事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 資源循環課 関連課 ごみ減量・資源化推進担当	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	3R事業を推進し、循環型社会の形成を目指すため。
効果	ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られたことにより、循環型社会が形成される。

2 平成26年度に実施した事業の概要

ごみの発生抑制及び減量・資源化に協力する自治・町内会に対して、3R推進事業奨励金を交付した。
 一般家庭向けの啓発事業として、ごみ減量通信の発行、説明会の開催、環境教育、ごみダイエット展、キャンペーン等を実施した。
 事業所向けの啓発事業として、パンフレットの配布等による周知や訪問指導を行った。
 事業所及び地域に設置した大型生ごみ処理機により、生ごみの減量・資源化を図った。
 家庭用生ごみ処理機に係る助成制度と直販制度を実施し、各家庭における生ごみの自己処理を促すことにより、生ごみの減量・資源化を図った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	41,557	決算値(千円)	47,363	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	1,071	その他	1,200	
	一般財源	40,486	一般財源	46,163	
	人員配置数	7.0	人員配置数	8.0	
事業経費運営	人件費(千円)	55,522	人件費(千円)	63,626	
	総事業費(千円)	97,079	総事業費(千円)	110,989	
	市民1人当りの経費(円)	548	市民1人当りの経費(円)	625	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	生ごみ処理機普及目標台数1,700台に向けての取り組み。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	自治・町内会の説明会での生ごみ処理機の紹介やキャンペーン等において普及活動を実施。また、直接販売制度や大型生ごみ処理機の補助金事業に取り組み、さらなる普及促進を図った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	平成27年度の年間ごみ焼却量29,923tを達成すること。	
効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適格に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 鎌倉リサイクル推進会議、鎌倉シチズンネット
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 生ごみ処理機は生ごみを自己処理することによるごみ減量の効果的な施策であり、今後も継続していく必要があることから、現状維持とする。
総評	生ごみ処理機の助成制度、直接販売制度を継続し、普及率向上を目指すとともに、大型生ごみ処理機の普及に向けた助成制度の構築を目指し、焼却ごみの減量を図る。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	生ごみ処理機普及率(平成25年度)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	17.7%	-	7.8%	15.0%	12.2%	6.5%	47.8%	26.3%	4.4%

比較事項	1人当たりのごみ排出量(平成25年度 ※国報告数値)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	1017g	894g	828g	903g	1031g	947g	1057g	920g	976g

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方
 生ごみ処理機の普及率は、現在増加しているが、本市より普及率が高い市町もあるため、より高い普及率を目指す。人口1人当たりのごみ排出量は県内では5番目に多くなっている。

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	ごみの焼却量の削減					単位	トン	指標の傾向	↓	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	達成率は目標値/実績値とした		
平成26年度末に今泉クリーンセンターが焼却を停止したため、焼却量の削減は安定的で着実なごみ処理体制の構築に必要である。	目標値	30,721	29,923							
	実績値	37,284								
	達成率	82.4%								

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--